

令和 7 年

寒川町教育委員会会議録

7 月 定 例 会

日 時：令和7年7月18日（金）
午後1時30分 ～ 午後2時32分

場 所：東分庁舎第2会議室

出席者

<教育委員会>

教育長		大 川 勝 徳
教育委員 1 番		布 谷 あけみ
2 番		小 川 雅 子
3 番		山 本 博 司

<事務局職員>

教育次長	高 橋 陽 一
教育政策課長	奥 谷 浩 二
学校教育課長	上 村 純 一
教育施設給食課長	川 部 雅 人
寒川学校給食センター所長	中 嶋 裕 子
生涯学習課副主幹	山 口 明 子
教育政策課指導主事	
（兼）学校教育課指導主事	明 珍 陽 介
寒川町民センター館長	別 府 拓 自
総合図書館館長	川 村 佳 子
書記	千 野 あずさ

寒川町教育委員会定例会（7月）議事日程

1. 開 会

2. 会議録署名委員の指名
山本委員 布谷委員

3. 教育長報告

4. 社会教育施設報告
①公民館報告（資料 1）
②総合図書館報告（資料 2）

5. 委員報告

6. 議 事
議案第 14 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の
結果報告書について

7. 協 議

8. その他

9. 閉 会

1. 開 会

○教育長

ただいまの出席者は4名です。大森委員は都合により本日は欠席です。定足数に達していますので、寒川町教育委員会7月定例会を開会します。本日の会議日程はお手元に配布した通りです。

2. 会議録署名委員の指名

○教育長

本日の会議録署名委員は山本委員と布谷委員にお願いいたします。

3. 教育長報告

○教育長

まず、小中学校の終業式についてお伝えします。本日7月18日をもちまして全小中学校が1学期を終了しました。今年は例年より梅雨が短く、1学期終盤は厳しい暑さが続きましたが、大きなけがや事故もなく無事に終了しました。6月からの水泳授業においては、町営プールや民間スイミングスクールを活用しながら外部委託を進めています。ただし、近隣市でも外部委託が始まっているため、自校で水泳授業を実施している旭小学校と南小学校については、来年度以降の方針を早めに検討します。今年度の夏休みは、小中学校共に8月31日までとなります。大きな事故もなく、様々な経験を積んで夏休みを過ごし、元気な姿で2学期を迎えてほしいと思います。

次に学校訪問についてお伝えします。6月25日に寒川中学校、7月3日に旭が丘中学校、7月7日に寒川小学校を訪問しました。午前中は授業参観、午後は全体会と分科会を実施し、指導主事や指導員が授業改善に向けた指導助言を行いました。児童生徒は落ち着いた態度で学習に取り組み、タブレット端末を場面に応じて活用していました。子ども同士や教員との信頼関係が築かれ、安心して過ごせる学校づくりが進んでいます。2学期も各学校を訪問し、様子や特色をしっかりと確認していきます。

続いて学力向上についてです。1学期から夏休みにかけて、校内研究の一環で外部講師を招いた研究会を各学校で開催しました。一之宮小学校では6月23日に講師に北川達夫先生をお招きし、「考え、議論する道徳」の実践として、5年生に研究授業を行い、指導講評や講演会を行いました。また、7月22日には北川達夫先生による教育講演会が予定されており、非認知能力の育成についてお話しいただきます。今年度の公開研究校である南小学校では、10月31日の研究発表会に向けて準備を進めています。夏休み中には指導案の作成を行い、茅野政徳教授を招いて助言をいただく予定です。

次にいじめや道徳教育についてです。1学期の生活アンケートでは、子どもたちの回答か

ら課題となる点を担任が中心となり学校全体で共有し、丁寧に対応しています。また、児童生徒のトラブルに端を発する保護者対応において、過剰な要求や理解を得られないことが増えています。この課題に対応するため、学校では教育委員会や警察、県のスクールロイヤーと連携し、法的根拠を含めた対応や教育相談につなげています。

外国語教育の推進についてです。FLTは教員と連携しながら指導を行うだけでなく、給食や清掃の時間、休み時間などで児童生徒と積極的に交流し、英語に親しめる環境づくりに取り組んでいます。夏休みには「さむかわイングリッシュキャンプ」を実施予定であり、FLTが準備を進めています。また、8月28日に小学4年生から6年生を対象とした「Summer Lunch with FLT」、27日には中高大学生を対象とした「Brunch cooking with FLT」を実施する予定です。

続いてICTの推進についてです。タブレット端末の活用が進み、授業では重要な学習ツールとなっています。しかし、情報モラルの課題も浮上しています。例えばある小学校の訪問で、児童が不適切な内容をタブレット端末に書き込む場面がありました。この際、教員が授業を止め全体指導を行い、その後児童が書き直し、肯定的なフィードバックを受けることで改善が見られました。こうした指導を継続し、情報モラルの向上に努めます。

最後に支援教育についてです。今年度、寒川小学校に特例補充教員を配置し、教務リーダーと教育相談コーディネーターが連携して取り組むことで、校内巡回や支援体制の構築が進んでいます。夏休みに児童生徒が休みがちになる傾向に対応するため、初期対応に力を注ぎ、丁寧な見取りを行います。

報告は以上ですが、何かご質問等はございますでしょうか。

【質疑等なし】

4. 社会教育施設報告

①公民館報告（資料1）

【議事内容は資料1により町民センター館長から説明】

【主な質疑等】

○山本委員

公民館では様々な新規事業を展開しており、多くの講師の方々が招かれています。しかし、これらの事業や講師について学校側が十分に把握していない点が課題としてあると思います。例えば、様々な活動を行った方の情報をまとめ学校でも活用できる形にすることで、フラダンスや和太鼓などの活動を実施する際に、関係する講師や団体を活用することが可能になると思います。

会費を必要としない人材バンクのような協議会で、年1回程度の会合を設け、横の有機的なつながりを生かして運営する形にすることで、寒川町の指導者が他の地域と関わる機会や、講師数の増加にも結びつくのではないのでしょうか。今回、生涯学習課が教育委員会に設置されたことは非常に大きなことであると思います。これを契機に、地域教育の枠を広げる取り組みを進めていただければと考えています。

また、北部公民館で開催される「夏休み子どもフェスティバル」についてですが、夏休み中は塾、部活動やクラブ活動への出席などで、子どもたちの参加が難しいのではないかと思います。昨年の実績では、午前中にどれくらいの子どものが集まったのでしょうか。

○町民センター館長

昨年の参加者数は、100名までは達しておらず、50～60名程度だったと認識しています。以前はもっと多かったですが、最近はその規模になっています。

人材バンクについては、町民センターだけでは難しい部分があるため、教育委員会との調整を進め、より良い形を構築できればと思います。先日、生涯学習課から人材登録制度を活用し、講師として検討することも可能ではないかという提案がありました。これらを考慮し、講座の充実を図りたいと思います。

○生涯学習課副主幹

生涯学習課では人材登録制度「ステップ・アップ」を以前から実施しており、町内外のスキルを持った方々にご登録いただいています。講師自身が自主的に企画し、公民館講座の講師として活動する仕組みがあり、講師同士の交流を深めるため、毎年生涯学習支援者研修を実施しています。しかし、参加者は登録講師の中でも限られた人数となっているのが現状です。公民館講座の講師として活動を促進することで、「ステップ・アップ」をより充実させたいと考えています。

○山本委員

公民館講座の講師と生涯学習課の「ステップ・アップ」が連携されていないということでしょうか。

○生涯学習課副主幹

現在、連携はとっていません。公民館は毎年講師を新しく探し、尽力していますので、これらを連携させることで充実した人材バンクが構築されると思います。また、学校にも紹介することができると、より活用されるものになると思います。地域学校協働活動でも検討課題となっていますので、より良いものを作り上げていきたいと考えています。

○布谷委員

最近の物価高騰によって材料費なども値上がりしている中で、講座の材料費の上限がどのように決められているのか、またその運営においてご苦労があるのかについて伺いたいです。

○町民センター館長

材料費が必要な講座については、物価上昇の影響を受けています。特に子ども向けの事業では、なるべく低価格で参加できるよう調整しており、成人向けの講座についても昨年から材料費を据え置きにするなど、価格を上げない方向で運営しています。現状、どうにかやりくりをしながら講座を開催している状況です。

②総合図書館報告（資料２）

【議事内容は資料２により総合図書館長から説明】

【質疑等なし】

５． 委員報告

○山本委員

７月１０日に青少年問題協議会に出席しました。教育長も同席しました。今回は、各団体の活動内容がまとめられたプリントが事前に配布され、それを読んだ上での出席となり、協議自体は行われませんでした。報告の中では、高校の校長先生や警察の方も出席され、最近の補導者数が増えてきているとの報告がありました。この状況を踏まえ、各団体が自分たちにできることについて議論する場となりました。

【質疑等なし】

６． 議事

議案第 14 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書について

【議事内容は「議案第 14 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書について」により教育政策課長から説明】

【主な質疑等】

○小川委員

外部委員の方から多くの良い意見をいただいていると感じております。特に、郷土歴史に対する関心を高める取り組みについては、積極的に前向きに進めていただければと思います。旧広田医院についてですが、先日現地を確認しましたが、歩道がないため、眺める際に非常に危険を感じました。そのため、安全に観賞できる何らかの工夫があると良いと思います。

郷土の歴史を学ぶことは、子どもたちにとって歴史だけではなく、地理、文化、芸術、さらには理科分野など幅広い学問への興味を持つきっかけになると考えます。このようなご指摘をしっかりと受け止め、対応を進めることを期待します。今後、このような計画が立てられる予定はありますか。

○生涯学習課副主幹

旧広田医院についてですが、私有地であり、町では見学会などで所有者の方の協力をいただいている状況です。ただし、現時点では整備に関する具体的な計画は決まっておりません。

○教育次長

文化財保護委員会議では、国指定を受ける際に説明を行い、委員会の理解を得て現状に至っています。しかし、私有地であり所有者が民間の方であるため、その点を配慮しつつ町民の方々への周知を進める方針です。現在、文化財保護委員会議でもどのような形で町民に広く知っていただくかについて検討を進めています。所有物が個人のものである点を踏まえながら、限定的ではありますが、町民に広く知っていただける方向性を探っております。

7. 協議

【協議案件なし】

8. その他

【その他案件なし】

9. 閉会

○教育長

今回は 8 月 20 日水曜日午後 1 時 30 分から東分庁舎第 3 会議室において開催いたします。

す。それではこれもちまして、寒川町教育委員会 7 月定例会を閉会いたします。

上記事項につき全委員確認し終了したので閉会を宣言した。

上記会議録の顛末を記載し相違ないことを証してここに記載する。

令和 8 年 3 月 31 日

教育長 大川 勝徳

署名委員 山本 博司

署名委員 布谷 あけみ

会議録調整者 小林 将太